



お持ち帰り自由です

中野こども病院 院外報

みんなで育てよう!

vol. 7

理念

私たちはいつも何が子どもにとって一番大切なことを考えて医療を提供します。

モットーとする言葉

愛情、信頼、誇り

基本方針

- ☀ 子どもの立場にたった小児救急医療の充実に努めます。
- ☀ 心身両面から専門的な診療を行い、フォローアップします。
- ☀ 子どもの人権を尊重し、みんなで子育てを支援します。



社会医療法人 真美会

中野こども病院



社会医療法人 真美会
中野こども病院
事務部長

藤村 誠司

事務部長からの ご挨拶

本年4月より事務部長を拝命いたしました藤村誠司と申します。

私は約30年間、国立病院機構(国立病院)に在籍し、このたび、ご縁があつて中野こども病院にまいりました。これまでの間、規模の大小も含め病院機能の違ったさまざまな病院を経験してまいりましたが、中野こども病院のように、小児医療に特化した病院は初めての経験であり、大変光栄に存じております。

中野こども病院の全職員は、「いつも何がこどもにとって一番よいことか」を考えて医療活動を行っています。それをより充実させるためには、私ども事務部門がしっかりと下支えをしなければならないうと、あらためて気を引き締めている次第です。

中野こども病院は、昭和41年創立以来、小児救急医療の充実に掲げて実践してきた長い歴史がありますが、皆さま方のご理解、ご支援なしに現在の姿はあり得ないことであり、今後さらに充実した小児救急医療を継続していくためには、皆さまとさらなる連携を深め、全身全霊で努力しなければならないと存じております。皆さまに「ご迷惑をお掛けするなど、至らぬ点多々あろうかと存じますが、さらなるご理解とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

薬の飲ませ方



薬剤科
岡山 敦子 薬剤師

吐き気止めについて

嘔吐しているときには、まず、いかに胃や腸の安静を保ちながら適切に水分＋糖分＋適度な電解質を補給して脱水状態に陥らせないかが大切です。吐き気止めの坐薬や飲み薬を使用し、30分くらいたってお薬が効きはじめたら、少しずつ経口補水液を飲ませてあげましょう。吐き気止めを使っているからといって、たくさん水分を一度に摂ると、また吐く原因になりますので、スプーン1杯(約5ml)程度の水分を5分おきくらいに飲ませてあげましょう。

解熱剤や吐き気止めは一回使ったら6～8時間は間隔をあけてください。お薬の効き目が切れ、再び、お熱が上がってきてぐったりとしんどそうときや、吐いて水分が摂れないときは2回目を使ってください。乱用は避け、一日3回くらいまでにしましょう。

お薬の上手な飲ませ方について

保護者の方から「お薬を飲んでくれ

ません」「何に混ぜてもお薬が入っているとバれてしまつて……」という声を聞くことがあります。お薬の飲ませ方は年齢によってさまざまです。新生児期・乳児期の赤ちゃんは、味で服薬を嫌がるよりも、満腹で飲めなかつたり、食べ物と一緒に吐いたりすることがあるため、薬の特性上の問題や特別指示がない場合は、授乳や離乳食の前に服用させましょう。寝ているところを無理に起こして飲ませる必要はありません。起きているとき、機嫌のよいときにあげてください。シロップはそのまま、粉薬は少量の水に溶かし、哺乳瓶の乳首やスポイト、スプーンなどを用い与えましょう。また、スポイトは、口の端から入れて、舌に当たらないようにし、なるべく口の奥の方に流し込むようにします。むせないように少量を数回に分けて飲ませます。粉薬は団子状に練って、清潔な指で苦みを感じにくい頬の内側や上あごに塗り付けてもよいでしょう。幼児期にはイヤイヤ期も重なって、さまざまな理由で服薬を嫌がることが増えてきます。基本的には水や白湯で服用する習慣をつけ

た方がよいですが、どうしても飲めない場合はアイスクリームや服薬補助ゼリーなどを使ってもよいでしょう。お薬によっては混ぜてはいけないものもあるので注意してください。また、薬をミルクやご飯に混ぜると味がかわり、ミルク嫌いや食事嫌いの原因になるため、なるべく避けるようにしましょう。

3歳くらいになると服薬に対して少しずつ理解できるようになります。お子さま本人にも薬はおいしい食べ物ではなく「病気を治すために必要なもの」であることを伝え飲ませるようにします。そして飲めたときは十分にほめてあげてください。それがお子さま本人の服薬に対する自信につながります。

小児は、生後から数年の間に劇的なスピードで成長し、それに伴い服薬に関する能力も変化してきます。それぞれの時期の気持ちや意思を尊重し、たくさんの方のバリエーションのなかからその子に合った方法を見つけていきましょう。

解熱剤の使い方について

日常診療のなかでもとりわけ夜間や休日など救急診療の中心は発熱です。保護者の方からの質問で一番多いのは解熱剤の使い方についてです。解熱剤は熱を一時的に下げるお薬です。「体温が何度になったら使ったらいいの?」と聞かれることがあります。お熱の目安は大体38.5℃くらいですが、熱が高くても機嫌がよく、夜も眠れている場合は使う必要はありません。解熱剤を使うタイミングは「熱のせいで寝付けない」「熱のせいで水分が摂れない」など、お子さまの状態を目安にした方がよいでしょう。解熱剤には坐剤・散剤・錠剤と3つの剤型がありますので、年齢や体重や好みでお子さまに合う剤型を選択してください。また、熱の勢いの強いときには、解熱剤を使っても思ったほど熱が下がらない場合もあります。体温が下がって少し体が楽になっている間に、水分補給や、汗をかいた衣類を着替えさせてあげてください。



みんなで育てよう!

vol. 7

こども美術館



お子さまと一緒にぬりえをしましょう!
「こども美術館係」までお送りいただきましたら
掲載させていただきます。



そうだん

ひとりで どうしたらいいのか
わからなくて こまるときが あります。
そんなときは だれかに
そうだんしてみましよう。

おうちの ひと ともだち せんせいなど
あなたの まわりには たくさん
たすけてくれるひとが います。

そうだんすると じぶんでは
おもいつかなかった ことを
おしえてくれたり

かんがえてくれたりするでしょう。
ゆうきをだして そうだんし
ちからになってもらいましよう。



こまったときは
そうだんしましょう



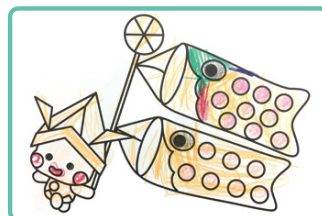
たしま みひろさん(3歳)



あらた まなきさん(2歳)



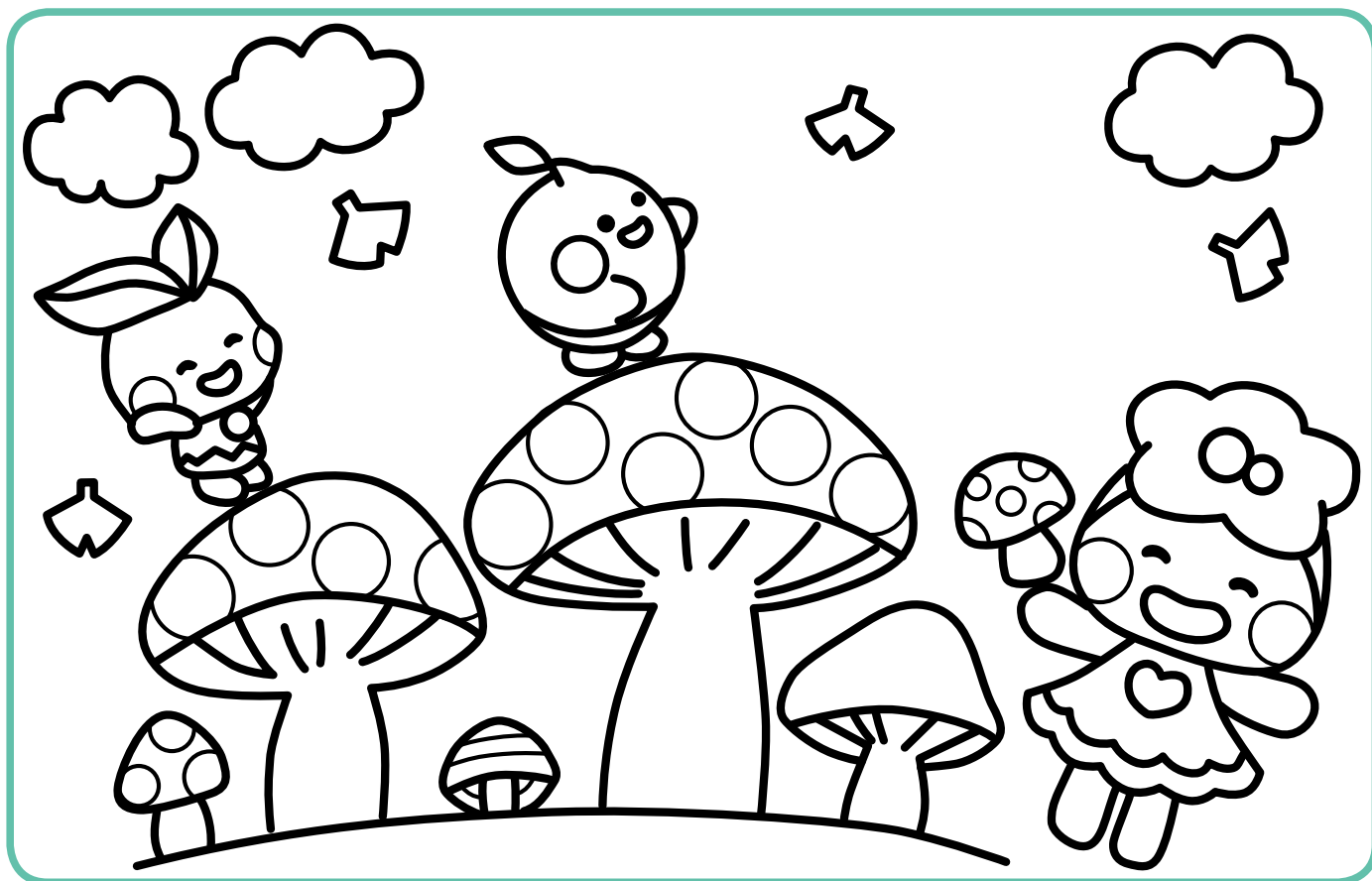
あらた なおとさん(6歳)



きの かななさん(4歳)

めりえができたら
送ってね!
こちらのページに
掲載させていただきます

お名前、年齢、性別、ご住所、電話番号を記入の上、下記住所に郵送またはご持参いただくか、右記QRコードでWEBサイトに進み、お写真をお送りください。
〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17 社会医療法人 真美会中野こども病院 こども美術館係 TEL 06-6952-4771
※ご応募いただいた作品とお名前をこちらのコーナーに掲載させていただく場合があります。ご了承ください。



じかん

ともだちと やくそくした じかンを
まもらないと ともだちは
「わすれたのかな」と

しんぱいしたり おこったりします。
やくそくした じかんに いえに
かえらないと おうちの ひとは
「なにか あったのかな」と

しんぱいします。

じかんは じぶんだけの
ものでは ありません。

みんなに じかんは あるのです。
じかンを まもらないと ひとに
めいわくをかけます。

じかかんを まもりましよう

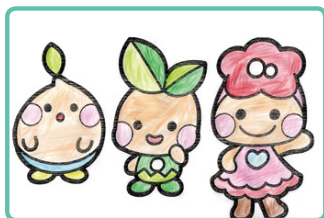
本文は「こころのドリル」(コミニケ出版)



よこやま ふみきさん(10歳)



なかじま なおみさん(5歳)



なかじま あみさん(7歳)



たしま みゆうさん(5歳)



ちやたに ゆか
茶谷 優香さん
薬剤師



さの なおみ
佐野 直美さん
薬剤科長 薬剤師



おかやま あつこ
岡山 敦子さん
薬剤師



Nakano Children's Hospital



こどもとご家族の、
服薬への不安を軽減するために

柔軟な服薬指導と情報発信で、 患者をサポート

患者さんに必要な情報を
提供します

薬剤科には、職員3名と夜間緊急外来専門の非常勤2名の薬剤師が在籍しています。平日は2人体制で外来と病棟に対応しながら、新生児から3歳までの調剤、服薬指導をメインに、上は中高生まで夜間・休日の院内調剤も行っています。外来は院外処方のため調剤は行いませんが、院外からの処方に関する疑義照会(問い合わせ)の窓口として対応しています。

当院ではてんかんや重度心身障害の外来患者さんも積極的に受け入れているため、在宅医療に必要な消耗品の取り扱いも多くあります。インシュリン投与に必要な注射器や針は、診察時に薬と一緒に処方すると保険適用内で対応できますが、それ以外は自費購入になってしまいます。このような患者さんの負担が軽くなるような情報を伝え、必要な物を必要な時に準備し、適切に提供することも大切な業務の一つです。

個性に合わせた服薬指導を行う

病棟調剤では、医師の処方箋をもとに調剤し、病室まで直接薬を持参し、保護者に処方説明や服薬指導を行います。こどもは年齢や体重で薬の量が変わり、配合や種類も細かいため、分量や適性を常に確認しながら慎重に処方しています。

また、調剤の翌日には再度病室を訪れて、服用方

法の確認をします。うまく服薬できないお子さんには、調剤・服薬方法を変えるなど、一人ひとりの適性に合った方法を選択します。一人ひとりの特徴を知るため、小児薬物療法の資格を持つスタッフなどが本人の意向を聞き、「どのような薬なら飲めるのか」納得できる方法を見つけます。

当院は喘息の入院患者が多いため、吸引薬をうまく吸えないお子さんには、スプレーという補助具を利用した服薬指導をします。スプレーを使うと、自然呼吸の中で薬を吸い込むことができるため、2、3歳のこどもでも服薬することができます。

病院内外の勉強会にも積極的に参加し、資格を取得するなど、常に最新の知識を身に付けているため、医師からの相談に対する適切なアドバイスや、最新の指導方法などの情報が発信できます。



喘息の吸入指導やアトピーの軟膏指導など、長期で服薬が必要なお子さんには、これまでの処方や治療内容、個々の適性などに配慮した指導をしています。これからの患者さんと深く関わる部署であり続けたいと思います。



佐野さんがレポート

今は、核家族が増えたため、お母さんが一人で子育てをしている家庭も多く、インターネットや書籍、お母さん同士の会話による知識が多くなります。そうすると、悪い情報だけが頭に残りがちです。そのため、先生からお話を聞いたり、薬剤師や看護師に相談するなど、多くの人からさまざまな情報を受け取ってほしいと思います。薬剤科でも保護者が視野を広く持てるように、医療補助具の提案や服薬に関するさまざまな情報を提供し、

サポートできるよう心掛けています。

過去に診察を受けた患者さんが再来院したときに元気になっていたり、大きくなった姿が見られたり、成長する姿を見れるのでやりがいを感じます。久しぶりに風邪で来院した患者さんに、「何年振り? 病院に来る回数が減ったわね」と話したり、お母さんから「まだ病院にいてくれたんですね」と声を掛けてもらえたりすると、うれしいですね。



佐野 直美 薬剤科長

トピックス TOPICS

お地蔵さまをお預かり することになりました。

このお地蔵さまは、「出世地蔵尊」として永年にわたり新森中央公園に鎮座されていましたが、諸般の事情により、当院敷地内でお預かりすることになりました。

令和元年8月23日、入仏式が執り行われ、新たに「子育て地蔵尊」と命名されました。祠の場所は新森小路小学校の登下校に利用されている通学路に面しており、すべてのこどもたちが健やかに、元気に、育つように見守ってくださいます。



地蔵盆に思う(平成18年8月22日、木野理事長の朝礼スピーチから)

本日は病棟行事の地蔵盆ですが、これは昔はこどもたちにとっては夏の最後をかざる地域の行事でした。地蔵盆とは、こどもの守り佛として古くから信仰されていました。お地蔵さんは民間の信仰の神様でしたが、仏教に属する地蔵菩薩であったようです。この地蔵菩薩はお釈迦さまが入滅してから未来仏の弥勒菩薩がこの世に現れるまで、人間界のみにあらず地獄・飢餓・修羅・畜生・天といった六道すべてに赴き、人々を救済しました。平安時代以降に阿弥陀信仰と結びつき、地蔵信仰が民間に広がり、道祖神と同じように村を守る役割も果たすようになります。そして、地獄の鬼からこどもを救うとしてこどもの守護神ともなり、現在にいたっています。地蔵盆の主役は、こどもたちです。京都では、各町内ごと地



蔵尊の前に屋台を組んで花や餅などの供物をそなえ、お菓子を食べながらゲームなどの遊び、福引きなどが行われます。こどもが親より先に死ぬというのは、親を大変悲しませることです。先に行ったこどもは親を悲しませた罪の供養ということで地獄の三途の川の河原で、石を積みこことになるのですが、その積み方が悪いというのは地獄の鬼たちがその石をつぶすのです。しかし、地蔵菩薩は賽の河原で苦しんでいるこどもたちを救うという「地獄に仏」そのもので、まさにお地蔵さんはスーパーマンというわけです。20年前に当院創始者の中野博光先生が読売新聞に書いておられる随想に、「地蔵盆を楽しんだ後で全職員誓い合うことは、力及ばないまでも地蔵さんの手助けをして、賽の河原で石積みをしなくてもよいようにこどもたちの健康を守るように努力をしようということである」という言葉がありました。



心の コラム



感謝の気持ち、思いやりの心をコンセプトに編集された、1日1話の人材教育冊子『月刊朝礼』。わかりやすいエピソードを交えて、豊かに生きるヒントを長年にわたり世に送り続けています。人間力の向上が家庭を、職場を、そして社会全体を明るくします。

どんどん増えるもの

Kさんの祖父は、小学校の校長を務めた人でした。数年前に亡くなりましたが、今でも子どものころに言われた言葉を思い出すことがあります。

夏休みの間、家に集まっていたKさんと従弟たち、祖父が「使っても減らなくて、どんどん増えるものはなんだと思う」と聞きました。

なぞなぞが好きなKさんたちは、面白がつて答えを出しますが、なかなか当たりません。

「答えは『優しい心』だよ。お金や道具は使えば減っていくけど、優しい心は使えば使うほど増える。安心して使っていきなさい」

心の使い方をKさんが聞くと、「ありがとう」「応援してるよ」などの優しい言葉を相手に伝えたり、困っている人を助けたりすることだと教えてくれました。

使えば使うほど、自分もみんなも幸せな気持ちになり、心が豊かになるのが「増える」ことだといいます。

Kさんは子どもに伝えていくとともに、自分たち大人こそ、忘れてはいけない言葉だと思っています。



優しい心は使えば使うほど増える

わが家の合言葉

Kさんの息子と娘は、就職や結婚で実家を離れ、独立して暮らしています。2人が実家に帰ってくるのは、長期休暇の間だけです。家族が集まったときはいつも「合言葉」を言うようにしています。

まだ子どもが小さいころに、Kさんが考えた家族だけの合言葉です。

「家族4人、今日も元気にエイエイオー」

4人で円になって、大きな声で、こぶしを上げて言うのがルールです。

部活の試合や発表会、受験、就職の面接など、人生の節目にはいつも、この合言葉を言いながら、家族全員で励まし合ってきました。

妻が病気で入院したときはKさんと子どもたちで、退院したときは家族全員で、「エイエイオー」を言いました。

就職したばかりの娘は、時々電話で、「合言葉を言ってもらっていい？」と言うことがあります。不安なときや心細いときは、一人で家族を思い浮かべ、声を出すのだそうです。

もうすぐ息子夫婦に、初めての子どもが生まれます。孫と一緒に合言葉を言える日が、Kさんには楽しみです。



家族の絆を深めましょう

予約サイトのURL

<http://ssc2.doctorqube.com/nakano-kids-hospital/>

※アクセス後の手順は画面がナビゲートします。

※QRが読み取れない場合は、お手数ですがURLをご入力ください。



メールアドレス登録のお願い

メールアドレスをご登録いただくと、順番が近づくと【もうすぐメール】が送信されます。ぜひご登録ください。
[nakano-yoyaku@nakano-kodomo.or.jp] からメールが届くように、ドメイン許可設定をお願いします。

【表紙写真】
子育て地蔵尊
入仏式

